

国際標準SDHに対応 4・5・6G-300M方式

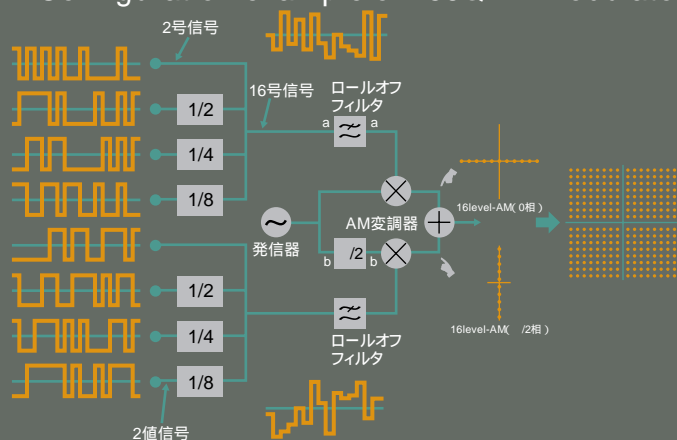
Compliance with international standard; SDH: 4・5・6G-300M system (since 1990)

世界で初めて256 QAM伝送を実用化した4・5・6G-400M方式を基本に、国際標準のSDH(Synchronous Digital Hierarchy)に対応させた機種。多値変調による品質劣化を防ぐため、さまざまなフェージング補償技術が駆使されている。無線装置ではデジタル処理によるトランスバーサル等化器、中継局間での誤り訂正(FEC)、交差偏波干渉補償器(XPIC)、個別制御形同相合成を標準装備している。無線端局でも予備回線への切替制御を効果的に行うマトリクス切替制御が装備されている。

4・5・6G-300Mの概要 Overview of 4・5・6G-300M

項目	NNI対応方式
周波数帯	4・5・6GHz帯
伝送容量	312Mbps / システム(8.0Gbps / ルート)
変調方式	256QAM
変調周波数	110、130、150MHz(3マルチキャリア)
周波数配置	20MHz コチャネル
システム数	現用27: 予備1
標準中継距離	50km
送信出力	+ 27dBm/1波
雑音指数	5dB以下(COM AMP)
ロールオフ率	0.42
クロック周波数	13.9443MHz
謝り訂正	BCH(255、239)二重謝り訂正 中々は冗長ビット訂正、中々は速度変換なし
スペースダイバーシティ	個別制御形同相合成
波形等化	全デジタル7タップ トランスバーサル EQL
干渉補償	XPIC(交差偏波間干渉補償)、全デジタル7タップ、T/2スペース VCDIC(ベクトル相関検出形干渉補償)、デジタル7タップ、T/2スペース
端局インタフェース	51.84Mbps x 2、ECL、16ピン同軸フラットケーブル
架実装	標準: 5Tx、5Rx/800m低架、標準: 15MD/800低架、 干渉用: 12MD + 12VCDIC/800m低架

256QAM変調器の構成例 Configuration example of 256QAM modulator



256QAM復調器の構成例 Configuration example of 256QAM demodulator

